

事業所名

こども発達相談センター・ベンチ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念	1 一人ひとりの“いのち・こころ・くらし”の安心・安全を支えます。 2 一人ひとりが、満足感、自己肯定感を抱いて、自分らしく豊かに生きることができる支援をめざします。					
支援方針	・一人ひとりに合わせた支援 ・小集団を通じて社会性やコミュニケーションの向上 ・保護者様のサポート					
営業時間	10時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり
5領域	支援内容					
本人支援	健康・生活	《衛生面》来所時、帰所時の手洗いや手指消毒・鼻をかむ・食事の際に口や手を拭く・排泄に関する支援を実施 《日常生活動作ADL》靴や衣服の着脱・食育活動における口腔機能の向上および食具の操作・身辺整理・準備や片付けに関する支援を実施				
	運動・感覚	《粗大運動》着座時の姿勢の保持・音楽に合わせた手遊び・移動（散歩）活動・遊びを通じた体づくり・体力の向上に関するプログラムを実施 運動遊び、サーキット（トランポリン・ジャンプ・ボール等）を通して多様な動きや体使いを体験するためのプログラムを実施 《微細運動》工作活動（はさみ・のり・テープ・ペン等）を通じた巧緻動作（切る・ぬる・はる・描く・とやす等）の習得に関するプログラムを実施				
	認知・行動	・工程表（身支度・工作療育）やスケジュールの視覚的支援（絵カード・写真）、タイムタイマーを活用した終始・見通しの支援、パーティションによる空間の構造化 ・ポンポン体操（身体部位・上下左右の空間認知）、リズム体操①（歩く・走る・止まる）・リズム体操②（大小・ゆっくり・はやく）→適切な行動と認知の習得を支援 ・カレンダー（日付の把握と確認による時間・数・季節）やクイズ（比較・数唱・集合数・合成と分解など）による概念形成の為のプログラムを実施 ・小集団遊びやルールのあるゲームでの適切な行動形成、認知の偏りへの配慮				
	言語 コミュニケーション	《言語の形成と活用》物の名前・用途・抽象語・属性・異同弁別・疑問詞・表現（様子・理由）・文づくり（2語文理解・助詞・説明など）言語形成に関するプログラムを実施 散歩・運動遊びなどを通して、実体験とことばの結びつきを促す支援を実施 《言語の受容と表出》非言語（身振り・指さし・ジェスチャー・絵カード）等、発達に合わせた視覚的支援 口の体操による口腔・構音機能の向上、語彙の拡大、文章表現の向上などを目的とした体形的プログラムを実施 《コミュニケーションの基礎的能力の向上》散歩や遊びを通して基礎的能力（注目・追視・操作模倣・共同注視・要求・報告・聴く・観察するなど）発達に合わせた支援 《状況に応じたコミュニケーション》小集団活動や遊びの場面設定に応じたやりとり（行動や感情のコントロール・伝え方など）に関するプログラムを実施				
	人間関係 社会性	・他者との関わりの形成、遊びを通じた社会性の発達、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加に関するプログラムを実施 →発達に合わせた遊びの課題設定（見立て遊び・つもり遊び・ごっこ遊び・一人遊び・並行遊び・連合遊び・ルールや役割分担のある共同遊び） →ルールのある遊びや勝敗のある課題設定（気持ちの折り合いや切り替え、待つ・譲るなど気持ちをコントロールする力）				
家族支援	・保護者会の実施 ・適宜、保護者様への相談援助 ・きょうだい児に関する相談・助言等	移行支援		・進路先、移行先への相談援助 ・進路先、移行先との情報共有		
地域支援・地域連携	・こども園、保育園、幼稚園、小学校などの併用事業所との情報連携、支援方法の情報共有 ・相談事業所との連携			職員の質の向上		・職員の各種勉強会や研修への参加
主な行事等	・季節の行事（季節にちなんだ工作・水遊び・ハロウィン・クリスマスお楽しみ会・そりすべり・おわかれ遠足・クッキング など） ・こどもの家、公園、街探検、博物館見学などの近隣施設を活用した活動 ・避難訓練（事業所単独：年1回／併設保育園の避難訓練参加：不定期） ・保護者を対象とした災害時緊急連絡訓練：年1回 ・クラス説明会 ・保護者会 ・個別面談 ・見学					